

アクセシビリ

2018年7月19日

北星学園大学

アクセシビリティ支援室通信

第9号

こんにちは!

北星学園大学アクセシビリティ支援室です。

7月に入り、もうすぐ定期試験が始まり試験が終わると夏休みですね。

今号では、『田実室長のコラム』と『ノートイク前期中間報告会』についてご紹介していきます。

コラム コトバの一人歩き

アクセシビリティ支援室ができて3年目となりました。支援を必要としている学生さん達の利用は右肩上がりに増えていて、アクセシビリティ支援室のスタッフは大忙しの毎日を送っています。

利用回数や支援依頼が増えたことは、アクセシビリティ支援室に対する認識が高まってきたことと連動していることは間違いありません。それに伴って、聴覚障害や視覚障害、発達障害などのコトバも良く聞かれるようになってきました。認知度が上がったこと自体はとても喜ばしいことなのですが、最近の傾向としてどうもコトバが一人歩きしている、あるいは場面にそぐわない使い方をされていることが増えてきたように思います。

「～ってアスペルガーみたいだね」、「コミュ障(コミュニケーション障害)だよね」、「アスペルガーは～は分かんないんだよ」、「自閉症は～できないんだよね」・・・説明のために何気なく使えるようになった弊害かも分かりませんが、特に発達障害に関するコトバが一人歩きをしているように思われる場面に良く遭遇するようになりました。これらのコトバを発する人は(学生であれ教職員であれ)悪気のある人はほとんどいない、と思います。むしろ障害を理解している人の方が、理解(耳慣れ?)しているが故に、コトバの持つ意味の大きさや影響力にまで思いを馳せることなく、日常的に気軽に発していることが多いようです。

さて、コトバとは発する人がいればそれを受ける人も当然ながら存在しなければなりません。障害、特に発達障害に関するコトバを発するとき、受け手の中でこのコトバにドッキリする人はいないでしょうか?受け手の人が発達障害があると分かっている場合には、慎重に表現を考えてコトバを発することと思いますが、受け手の関係者あるいは近親者に発達障害のある人がいる可能性まで、私たちは思いをめぐらせているでしょうか?悪気のある発言ではない、と分かっているても、ともすれば揶揄するような文脈で発達障害に関係したコトバが使われると、良い気持ちにはならないことと思います。自戒の念を込めて、今一度私たちは発するコトバの重さを考えてみたい、と思っています。アクセシビリティ支援室が自ら襟を正していくと同時に、学生諸君や教職員の皆様にも一度考えて頂く機会にしてもらえれば幸いです。

(室長：田実 潔)

2018年ノートテイクー前期中間報告会

2018年6月22日(金)『2018年度・前期中間報告会』が開催されました。



今回は、新年度から新しいテイクーさんも増えて初めての報告会でした。利用学生のみなさんも多く普段交流することのないメンバーと一緒に楽しんでいました。

ノートテイクーからは講義の中で、指示語を多用する講師が多いとテイクがしにくいことや、利用学生ともっと仲良くなりたいといったコメントが寄せられていました。

利用学生からもテイク支援を受けての感想や良かった点を率直に話してもらうことで、テイクーのモチベーションアップにもつながりました。

司会進行はノートテイクーが行い、会場のセッティング等も行っていました。昼食やお菓子を食ながらの報告会で、メニューはからあげ、スパイシーポテト、おにぎり3種、スナック菓子やチョコなどの甘いおやつもありました。お菓子以外はすべて完売です笑

今回、ゲーム等はなく、利用学生とノートテイクーの交流がメインとなっていました。

ノートテイクーも利用学生と交流しようと頑張って“手話”で話しかけるなど、それぞれが交流方法を試行錯誤していました。

次回の報告会の時には、ゲームやテイク方法についての活発な意見交換会等も行いたいと考えています。



アクセシビリティ支援室

- **開室時間:** (平日) 8:45~11:30 (11:30~12:30 昼休み)
12:30~17:00
- **連絡先:** 電話やメールでも相談を受付しています。お気軽にご連絡ください。
電話: 011-891-2731 (代表)
mail: acc-support@hokusei.ac.jp

!!サポートスタッフ募集中!!

利用学生を助ける学生サポートスタッフを随時募集しています。講習会に参加して頂き、その後スタッフとして活動して頂きます(有償)。あなたもサポートスタッフとして活動してみませんか?

例) ノートテイク、教室移動のサポート、資料などの文字起こし、等

